

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科・電気電子学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科						
科目名	現代社会と倫理						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	岡野亜希子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽死, 脳死, 出生前診断をめぐってどのような問題が生じているのかを知る。 ・安楽死, 脳死, 出生前診断をめぐって問題を考えるための基本的な知識を理解する。 ・マスメディアの情報を批判的に検討する視点を身につける。 ・生命倫理をめぐっての問題についての自分の考えを, 客観的な言葉で表現することができるようにする。 						
日程と内容	第1回 オリエンテーション: 授業の概要, 成績評価について 第2回 ここはどこにあるのか? 第3回 動物の権利は認められるか? 第4回 死ぬ権利は認められるか? (1) 第5回 死ぬ権利は認められるか? (2) 第6回 死ぬ権利は認められるか? (3) 第7回 中間レポート 第8回 「脳死」患者にころはあるのか? (1) 第9回 「脳死」患者にころはあるのか? (2) 第10回 「脳死」患者にころはあるのか? (3) 第11回 胎児にころはあるのか? (1) 第12回 胎児にころはあるのか? (2) 第13回 キュアの理念とケアの理念 第14回 技術と倫理の問題 第15回 まとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	30%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から目標を達成したとみることができる。 ・安楽死・脳死, 出生前診断をめぐってどのような問題が生じているのかを知り, それらを考えるための基本的な知識を理解できた。 ・マスメディアの情報を批判的に検討する視点を身につけた。 ・生命倫理をめぐっての問題について自分の考えを, 客観的な言葉で表現できるようになった。						
反省点	映像資料や裁判事例の紹介などは意識して取り入れるようにしている。具体的なイメージをつかんだり, 講義で扱う内容をより理解しやすくなったりしているようである。						
来年度の計画	引き続き, 新聞記事やニュース映像などを使って問題を具体的にイメージしやすくできるようにしていきたい。また次年度も履修人数が多くなるのが予想されるので, 資料の配布やレポートの提出にかかる時間を考慮し, 余裕をもって授業を終えるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生からの要望に対しては, 「来年度の計画」で上げたような改善を試みるつもりである。						
履修登録者数	72名	定期試験 受験者数	68名	合格者数	59名	合格率	87%